

図書館に行こう!



4月

さあ4月、卯月です!新しいスタートの季節となりました。
入園入学や新生活に胸を膨らませてワクワクしているみなさん、図書館デビューはいかがでしょうか!いろいろなコーナーに選りすぐりの本を揃えてみなさんのお越しをお待ちしています。

今月の読み聞かせ

おはなしひろば 毎週火曜日 10:30~11:00(おはなしひろば)
たけのこ文庫のおはなし会 4月10日(土) 15:00~15:30
4月のおはなしルームはお休みです。

開館のご案内

竹田市立図書館 (TEL&FAX 63-1048)
開館時間 午前10時~午後6時 休館日 月曜日・第4金曜日

駅駅交流館図書室 (TEL&FAX 68-2200)
開館時間 午前10時~午後6時 休館日 土・日・祝日等

久住図書室 (TEL 76-0717/FAX 76-0724)

直入図書室 (TEL 75-2211/FAX 75-2217)
開館時間 午前8時30分~午後5時 休館日 土・日・祝日等

新刊のご案内

【一般書】

- ・ははのれんあい [KADOKAWA] 窪 美澄
- ・水葬 [徳間書店] 鍋木 蓮
- ・ばあさんは15歳 [中央公論新社] 阿川 佐和子
- ・ぜにざむらい [朝日新聞出版] 吉川 永青
- ・監禁面接 [文藝春秋] ピエール・ルメートル
- ・女将は見た 温泉旅館の表と裏 [文藝春秋] 山崎 まゆみ
- ・柚木沙弥郎のこぼれ話 [グラフィック社] 柚木 沙弥郎、熱田 千鶴
- ・金融のしくみがこれ1冊でしっかりわかる教科書 [技術評論社] 伊藤 亮太
- ・あなたの24時間はどこへ消えるのか [SBクリエイティブ] スワン
- ・伝説の家政婦沸騰ワード10レシピ [ワニブックス] タサン 志麻
- ・かゆみをなくすための正しい知識 [毎日新聞出版] 順天堂かゆみ研究センター
- ・何とかならない時代の幸福論 [朝日新聞出版] プレイティ みかこ、鴻上 尚史

【児童書】

- ・めいたんていサムくんとあんごうマン [童心社] 那須 正幹 作/はた こうしろう 絵
 - ・なぞのおばけめいろ (おばけのぼーちゃん11) [あかね書房] 吉田 純子 作/つじむら あゆこ 絵
 - ・「未完成」なぼくらの、生徒会 [KADOKAWA] 麻希 一樹
 - ・怪盗ルパンさまよう死神 [理論社] モーリス・ルブラン 著/ヨシタケ シンスケ 絵
 - ・世界を変えた15のたべもの [大月書店] テレサ・ベネイテス 文/フラビア・ソリーリャ 絵
 - ・鉄道ものしり大百科 [天夢人] 「旅と鉄道」編集部
 - ・プロから学ぶ修理ずかん ①こわれたら [フレーベル館]
 - ・人は見た目!と言うけれどー私の顔で、自分らしくー [岩波書店] 外川 浩子
 - ・にくにくしろくま [PHP研究所] 柴田 ケイコ
 - ・はるるどのサーカス [出版ワークス] クロケット・ジョンソン
 - ・ぜったいにおしちゃんダメ?ーラリーとおばけー [サンクチュアリ出版] ビル・コッター
- ほか 250冊ほど入りました。

読み聞かせに
おすすめの
一冊

「みたら みられた」

たけがみ たえ アリス館

あ 見たら、見られた。だれかと目があうと、なにかがはじまる予感……。野で、山で、いつもの散歩道でふと目があった生きものたち。ときには気まずいこともあるけれど、ハッと、ドキッ!なにかが通じた(気がする)心躍る瞬間をのびやかに描く木版画家・竹上妙の原点となる絵本です。

ことばの繰り返しと、印象的な木版画の世界をお楽しみください。



司書おすすめの1冊

一般書 「もろびとの空 三木城合戦記」

天野 純希 集英社



この戦いは、「勇壮」なのか?戦国末期、三木城当主の別所長治は、信長に反旗を翻す。織田勢を率いる秀吉の猛攻に耐え、籠城戦が続くなか、飢えに苦しむ領民は究極の選択へと追い込まれ……。米十俵のために握った薙刀で家族を守るため戦う覚悟を決める娘。「死に損ない」と罵られ、次こそ死のうと敵軍を斬りつづける武士。「女らしさ」の呪縛に悩みながら女武者組の指揮を執る別所家の妻。混沌と理不尽を生きる現代の「私たち」ときと繋がる、440年前のもろびと一名もなき「私たち」を描く。華々しい合戦絵巻の裏側に存在したひたむきな生の物語。

「渋沢栄一 誠意とそろばんで戦った近代化の父」

児童書

大石 学 監修/絢前 ゆうた 漫画 学研プラス

今年大河ドラマ『青天を衝け』の主人公、渋沢栄一。幕末の動乱の時代を生き抜き、フランスで近代国家の先進性と繁栄を知ります。明治維新後は日本最初の第一帝国銀行の創設をはじめとして、銀行、造船、鉄道など500を超える事業に関わり「近代日本経済の父」と呼ばれています。教育にも尽力し国際協調と平和を願い続けた生涯をまんがで描いていますので、この機会に渋沢栄一の生涯をたどってみませんか?



「句集 桐の花」

郷土の本

森 添子 産経新聞生活情報センター



竹田市にお住いの森添子さんが卒寿を記念して上梓された句集です。70歳から始められた俳句は一日一句の作品をつくられており、俳句大会などで入賞されています。やさしさが溢れた俳句をぜひ読んでみてください。